

羽幌町義務教育学校基本構想

令和8年9月

羽幌町教育委員会

羽幌町義務教育学校基本構想 目 次

第1章 羽幌町義務教育学校を目指す教育

- 1 基本構想策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 羽幌町における教育環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 羽幌町義務教育学校を目指す教育の姿・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (1) 目指す児童生徒像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (2) 目指す学校像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (3) 目指す教職員像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4 学びのステージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2章 施設整備に関する方針

- 1 羽幌小学校校舎改修に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (1) 9年間一貫した教育活動に適した施設環境の確保・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (2) 安全・安心で機能的な施設環境の確保・・・・・・・・・・・・・ 3
 - (3) 地域に開かれ、地域とともにある学校としての施設環境の確保・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 学校規模の想定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (1) 児童生徒数と学級数（令和11年度及び令和12年度）・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (2) 令和12年度以降の児童生徒数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
 - (3) 施設整備における教室数等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 開校までの想定スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 令和11年度開校の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 令和12年度開校の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第1章 羽幌町義務教育学校が目指す教育

1 基本構想策定の目的

令和8年3月に策定した「羽幌町小中一貫教育基本方針」において、羽幌町が「義務教育学校の設置」を推進することを決定しています。（離島地区については検討中）

本基本構想は、羽幌町における義務教育学校の理念、教育課程、学校のコンセプト、義務教育学校開校までのスケジュールを示し、今後の基本計画の策定や設計業務に反映させることを目的に策定するものです。

本基本構想では、「羽幌町小中一貫教育基本方針」で示した、令和12年度の羽幌小学校校舎を活用した義務教育学校の開校に関して、目指す教育内容や校舎整備の基本的な考え方を示しています。

2 羽幌町における教育環境

羽幌町は風光明媚な離島をはじめ、緑豊かな自然に恵まれた町です。子ども達の健やかな成長を育み、児童・生徒の健全育成を図るには最適の環境と言えます。

また、住民の地域への愛着が深く、地域と学校との相互の信頼関係も厚く、小・中学校の教育活動においても、地域住民が積極的に関わっています。こうした恵まれた環境を活かして、地域に根差し、地域と連携した学校教育を行っています。

3 義務教育学校が目指す教育の姿

（1）目指す児童生徒像

- ☐ 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」がバランス良く備わった、心豊かで逞しい児童生徒
- ☐ 複雑で予測困難な時代を生き抜けるよう、探求心を身に付け、困難を乗り越えることができる児童生徒
- ☐ 集団生活の中で自らを律し、他者を尊重でき、グループでの問題解決を目指すことができる児童生徒

（2）目指す学校像

- ☐ 子ども1人1人が学びと活動に取り組み、活気あふれる学校
- ☐ 他者と協調し、規律を守り、仲間とともに伸びる学校
- ☐ 保護者から信頼され、地域の人々が誇れる安心・安全で充実した学校

（3）目指す教職員像

- ☐ 目指す児童生徒像の実現に向けて、研鑽を重ね、資質向上に努める教職員
- ☐ 豊かな人間性を備え、児童生徒と向き合い、個性と自主性を尊重する教職員
- ☐ 地域や保護者との信頼関係の下、連携、協力して児童生徒の育成に努める教職員

4 学びのステージ

羽幌町義務教育学校が目指す教育の姿に基づき、義務教育学校としての教育効果を最大限に発揮するため、子どもたちの心身の発達段階を踏まえ、従来の小中学校の枠組みを連続性のある3つのステージに区切り実践していくこととします。

学年	前期課程						後期課程		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
ステージ	1st ステージ			2nd ステージ			3rd ステージ		
	基礎を作る期間			学びを広げる期間			学びを深める期間		
指導形態	学級担任制			学級担任制 ⇒教科担任制			教科担任制		

【ステージごとの目指す姿（指標）】

	1st ステージ	2nd ステージ	3rd ステージ
(知育) 学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付ける	(基礎を作る期間) ・学習習慣を身に付け、学ぶ意欲を醸成する。 ・2nd ステージ以降に向けた基礎学力を養う。	(学びを広げる期間) ・主体的に学習に取り組む態度を育成する。 ・興味や関心に基づき、学習課題を自己決定できる能力を養う。	(学びを深める期間) ・個性と能力の更なる伸長を図る。 ・学びを深め、課題を解決するための探求心を養う。 ・学習した内容を進路選択に活かす。
(徳育) 思いやりのある豊かな心を育む	(基礎を作る期間) ・善悪の判断や規範意識の基礎を養う。 ・優れたものを優れていると感じる心を養う。	(学びを広げる期間) ・自己肯定感の向上と人権感覚の育成を図る。 ・自らを律し、他者を思いやる心を養う。	(学びを深める期間) ・規範意識を高め、自立する力を養う。 ・寛容の心を養い、優れた人間形成の基礎を培う。
(体育) 心身を鍛え、健やかな成長を促す	(基礎を作る期間) ・望ましい生活習慣を定着させる。 ・楽しく運動しながら体力を養う。	(学びを広げる期間) ・意欲的に運動する習慣を養う。 ・食育を通して、望ましい食習慣を身に付ける。	(学びを深める期間) ・体力の向上と心身の調和的発達を図る。 ・食事と運動を通じた健康づくりの習慣を育成する。

第2章 施設整備に関する方針

1 羽幌小学校校舎改修に関する基本方針

羽幌小学校校舎の改修整備においては、羽幌町義務教育学校が目指す教育の姿や学びのステージにおける目標の実現に向けて、ファーストステージからサードステージの各ステージの活動に配慮した校舎改修を目指すとともに、次の3つのコンセプトに基づくこととします。

- 9年間一貫した教育活動に適した施設環境の確保
- 安全・安心で機能的な施設環境の確保
- 地域に開かれ、地域とともにある学校としての施設環境の確保

(1) 9年間一貫した教育活動に適した施設環境の確保

□9年間一貫の系統的な教育課程に対応した施設環境、学年段階の区切りに対応した施設機能、異学年交流スペースの確保など、9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる施設改修を目指します。

□一貫教育を受ける9年間は心身の発達や学習面の向上だけでなく、社会性や行動範囲等あらゆる面で大きく成長する時期であるため、児童生徒が学年段階のステージ進行に伴って、自らの成長を実感できる施設改修を目指します。

(2) 安全・安心で機能的な施設環境の確保

□児童生徒が9年間同一の施設を利用することから、児童生徒の発達段階や体格差にも配慮し、安全性を備えた施設改修を目指します。

□校内の採光、通風、換気等を十分勘案し、児童生徒の健康・保健衛生に配慮した施設改修を目指します。

(3) 地域に開かれ、地域とともにある学校としての施設環境の確保

□学校施設が地域と連携、協働した生涯教育の基盤となるよう、学校、保護者、地域住民等の参画を得ながら総合的に計画を進めます。

2 学校規模の想定

(1) 児童生徒数と学級数（令和11年度及び令和12年度）

羽幌小学校校舎の改修については、令和12年度の供用開始を目指して取組みますが、1年でも早い段階での教育環境の整備を目指し、令和11年度での供用開始も視野に入れ施設改修を進めて行きます。

各学年の児童生徒数は以下のとおり予測しており、文部科学省の基準に当てはめると、ほとんどの学年が各1学級となります。

		前期課程						後期課程			
学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
R11	人数	18	18	20	27	37	22	26	36	31	235
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	10
R12	人数	17	18	18	20	27	37	22	26	36	221
	学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10

(2) 令和12年度以降の児童生徒数

令和12年度以降も児童生徒数の減少が予測されています。

	年度	R8	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
前期	人数	179	113	102	97	94	90	87	89	87	86	85
	学級数	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
後期	人数	115	85	86	84	65	56	53	48	46	44	46
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計	人数	294	198	188	181	159	146	140	137	133	130	131
	学級数	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

(3) 施設整備における教室数等

上記(1)と(2)を踏まえて、施設整備における普通教室数は開校予定年次の学級数である10教室と想定し、整備の検討を進めます。

また、特別支援学級については、支援が必要な内容や児童生徒数によりますが、各学年1学級を想定し、9教室の整備の検討を進めます。

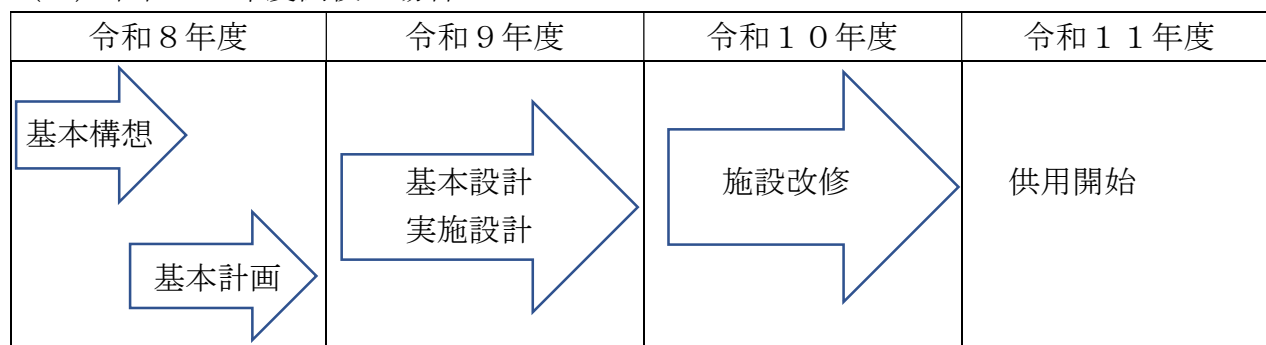
そのほか、特別教室、多目的教室、共通・共用部、管理系施設、屋内運動施設、屋外施設についても、必要となる機能や規模を十分に検討し、学びやすく機能的な施設改修を目指します。

3 開校までの想定スケジュール

開校の年度については、改修内容及び資材調達状況に応じ検討が必要と考えています。
世界的な資機材不足の影響を考え、令和10年度からの施設改修を目指します。

また、増築の必要がなく、順調に施設改修が進んだ場合には、義務教育学校の供用開始を基本計画の令和12年度から1年前倒しし、令和11年度からとすることも検討します。

(1) 令和11年度開校の場合



(2) 令和12年度開校の場合

